



# 東海村 はたちの集い

1月6日、暖かな日差しの下、東海文化センターで「東海村はたちの集い」が開催され、出席者333人(対象443人)が新たな門出を祝いました。

今年は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことに伴い、4年ぶりに、東海中学校区と東海南中学校区の卒業生が一同に会した式典となりました。

## はたちの誓い(抜粋)

社会人としての自覚を持つということは、自分の言動に責任を持つことでもあります。未熟でありながらも、自覚ある言動、行動を心掛けていきたいと思えます。

私は、この東海村で、これからも大切にしたいと思う人や仲間に出会うことができました。誓いの言葉を共にできることをうれしく思います。

これから私たちが進んでいく道には、多くの困難が待ち受けていると思いますが、どんな風が吹いても前に進み続けます。時には立ち止まりながら、周りの人のことを考えられるような人間になります。

実行委員 赤津 颯斗さん(東海中卒業)



## 参加者へのメッセージ

「3C」を覚えていますか？  
「チャンス」を捉え、多くの  
ことに「チャレンジ」し、自  
分や周りを良い方向へ変えて  
（「チェンジ」）いってください。

東海中学校元校長 岡崎光也さん



立派に成長した姿を見るこ  
とができてうれしいです。こ  
れからの激動の世の中を変え  
るのは皆さんの世代です。頑  
張ってください。

東海南中学校元校長 飛田順一さん



現代は情報があふれる時  
代です。だからこそ、自分  
自身で事実を確認し、自分  
の行動に責任を持つことを  
意識してください。周囲の雰  
囲気に流されるのではなく、  
自らの足でしっかりと人生  
を歩んでください。

東海村 山田村長



### Pick up!

当日配布されたパンフ  
レットのイラストは、白  
数知優さん(東海南中卒  
業)が描きました。



# スマホクリエイターズLab. が はたちの集いの裏側をキリトル。

二十歳になる方がこれまで育ててくれた人々や社会に感謝し、大人社会への第一歩を踏み出すためのきっかけとして、毎年行われている「はたちの集い」。今回、「東海村スマホクリエイターズLab.」がはたちの集いの裏側取材しました。

【問い合わせ】地域戦略課プロジェクト推進担当(☎282-1711 内線1339)

## “みんなに楽しんでもらいたい”という思いを胸に… はたちの集いの開催を支えた実行委員へインタビュー

二十歳の節目に集うことは、全ての参加者にとって、一生の思い出となることでしょう。



はたちの集いの準備は、昨年の8月末頃から始まりました。実行委員同士、住んでいる場所が離れているため、主にSNSやリモートで調整を行うことに。4人とも学生のため、学業や私生活と並行して、総勢400人近い同級生の取りまとめを行うことは大変でした。全員、一度は「もう無理!」という気持ちを経験しながらも、実行委員を続けられたのは、「はたちの集いをみんなに楽しんでもらいたい」という思いからです。4人がそれぞれ担う役割の中で、どうしてもみんなが楽しむことができず、悩みながら準備をしてきました。なんとか迎えた本番当日。準備のいいあつて、終始笑顔があふれていた会場内。特に、実行委員の工夫が散りばめられたアトラクション(恩師からのメッセージ)では、会場全体が大きな盛り上がりを見せていました。

副実行委員長  
小池菜織さん(東海南中卒業)



中学生の時に生徒会役員を務めていたこともあり、元々、はたちの集いの実行委員をやりたいかったです。一人ひとりをつなげて、みんなの思い出を作れるような役ができて良かったです。

実行委員長  
田谷晃久さん(東海南中卒業)



経験を積むことで、出来事の見え方も変わります。あの頃の先生の気持ちも今なら分かるかもしれません。はたちの集いや同窓会がみんなにとって良い思い出になっているといいなと思います。

実行委員  
赤津颯斗さん(東海中卒業)



“はたちの誓い”では、自分が何を伝えたいのか、どうしても伝わるのかとても悩みました。親からもらった、自分の名前の由来も誓いの言葉に込めたので、皆さんに思いが届いているとうれしいです。

実行委員  
甲斐万裕さん(東海中卒業)



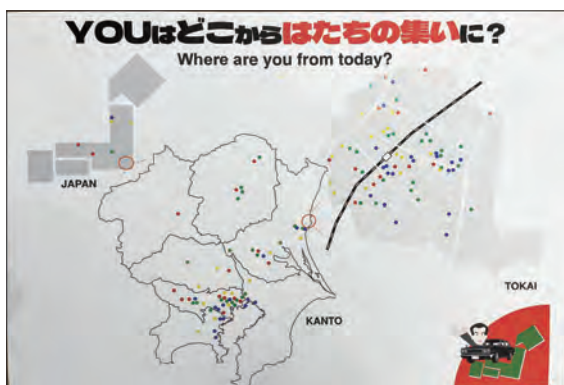
コロナ禍での高校・大学生活ということもあり、中学時代が一番人と深く関わった時かもしれません。今回、先生からのメッセージ動画を作ったので、「こんなことあったよね」と、昔を懐かしんでもらえたらうれしいです。

実は…こんなこともやってました！

## 「YOUはどこからはたちの集いに？」&「東海村推しの地図」

はたちの集いの会場に特設ブースを設置し、参加者を対象とした調査を行いました。内容は、現在の居住地にシールを貼ってもらう「YOUはどこからはたちの集いに？」と東海村の推スポットを記入してもらう「東海村推しの地図」です。思い出話に花が咲き、盛り上がっている参加者の姿が印象的でした。

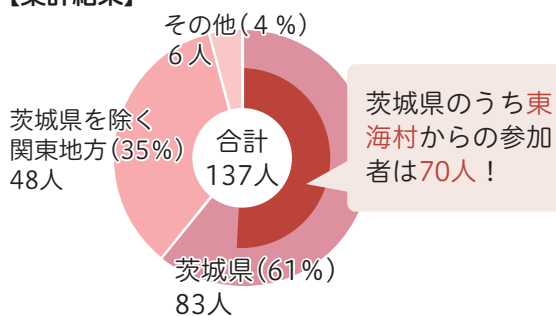
### ●YOUはどこからはたちの集いに？



### ●東海村推しの地図



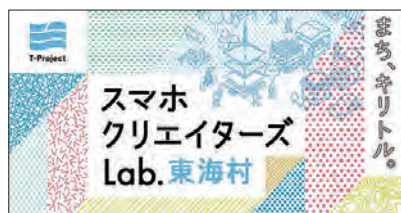
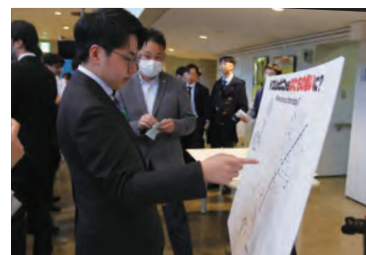
### 【集計結果】



### 【記入者コメント】

- ▽今はないお肉屋さんの70円のチキンカツがおいしかった！
- ▽白方小の跡地公園でよく遊んだね
- ▽東海中と東海南中で吹奏楽部の合同練習をしたときもあったな！
- ▽中学生の時、教室にお菓子のごみが落ちていた事件とかあったね～

ご協力いただいた皆さんありがとうございました！



「スマホクリエイターズLab.」は、村と住民が一緒になって地域を面白くする取り組み「東海村つながるプロジェクト(T-project)」から生まれた企画です。プロの講師から撮影技術や記事の書き方、SNS等を活用した情報発信スキルを学んだ住民ライターが、まちづくりに参加し、村の魅力を発信しています。



▲スマホクリエイターズ Lab.